

○目指す子ども像(共通) 主体的に学び、互いに思いやり、認め合い、助け合う児童生徒

重点目標(児童生徒の共通する課題より) (1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動の充実”～聞き取る・読み取る・伝え合う。

○洛西中学校めざす生徒像 1. 自分の良さを認め、幸せを追い続ける生徒 2. 他人(ひと)の良さを認め、他人(ひと)のために行動する生徒

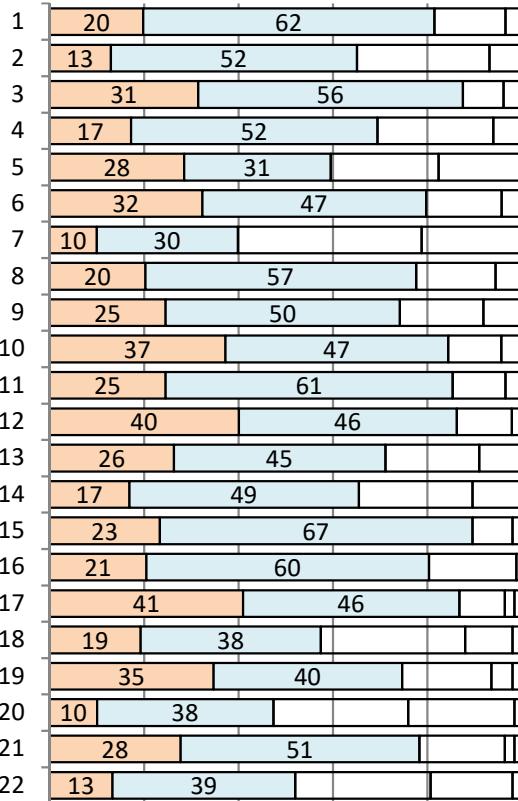
(2) 自己有用感や自己肯定感を獲得させることにより自尊感情を高める。

3. 最後まであきらめず、一生懸命に頑張り抜く生徒

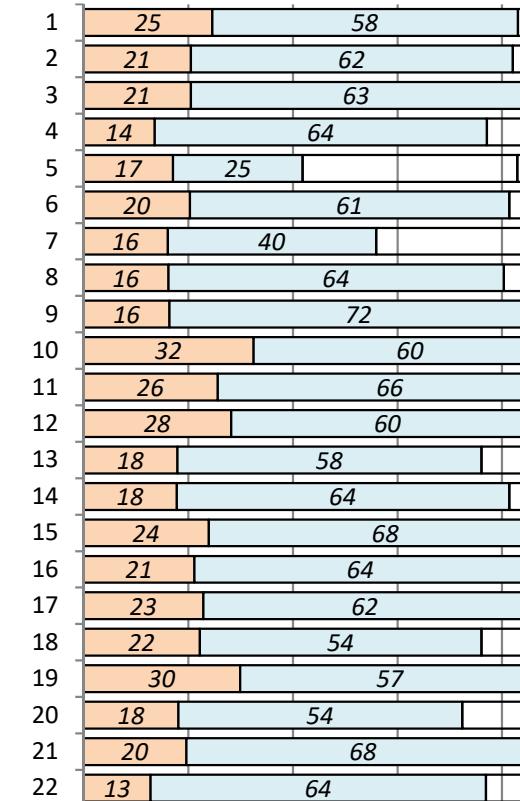
※単位は%

質問項目	
確かな学力	① 学習したことを理解し、基礎的・基本的な学力を身に付いていると思いますか。
豊かな心・健やかな体	② 自分の意見や考えを進んで伝えることができますか。
学校・家庭・地域の連携	③ 人の意見や考えをしっかり聞くことができますか。
	④ 自分の意見や考えをわかりやすく書くことができていますか。
	⑤ すすんで読書をしていますか。
	⑥ 忘れ物をせずに、学習の準備をすることができますか。
	⑦ 毎日時間を決めて、家庭学習をしていますか。
	⑧ 先生の授業は、わかりやすいですか。
	⑨ 先生は、授業や学校生活の中で、自分ががんばったことを認めてくれていますか。
	⑩ 学校に楽しく通うことができていますか。
	⑪ 学校で、先生や友達から大切にされていると思いますか。
	⑫ 地域の人や先生、友だち等に、きちんとあいさつができますか。
	⑬ 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が送っていますか。
	⑭ 自分に良いところがあると思いますか。
	⑮ 学校のきまりや地域でのマナーを守ることができますか。
	⑯ 学校の取組を通じて、豊かな心をはぐくめていると思いますか。
	⑰ 学校・学年・学級によりや、学校のお知らせプリントなど、お家の人に見せていますか。
	⑱ 先生にわからないことや悩みごとを相談していますか。
	⑲ お家の人に、学校のできごとについて話をしていますか。
	⑳ 行事や参観、懇談会等に家の人が来てくれる楽しみにしていますか。
	㉑ お家の人にや先生から、ほめられることがありますか。
	㉒ 地域の方との交流や地域・PTAの行事を、楽しみにしていますか。

生徒



保護者・学校運営協議会



そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		空白	
生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人
①	20	25	62	58	15	13	3	2	0
②	13	21	52	62	28	16	7	1	0
③	31	21	56	63	9	14	4	3	0
④	17	14	52	64	25	20	6	0	0.431
⑤	28	17	31	25	23	41	18	16	0
⑥	32	20	47	61	16	16	4	2	0
⑦	10	16	30	40	39	32	21	9	0
⑧	20	16	57	64	17	15	5	4	0
⑨	25	16	50	72	18	6	8	3	0
⑩	37	32	47	60	11	6	4	1	0
⑪	25	26	61	66	11	5	3	1	0
⑫	40	28	46	60	12	9	2	2	0
⑬	26	18	45	58	20	20	9	3	0
⑭	19	18	55	64	21	16	6	1	0
⑮	22	24	59	68	14	5	5	3	0
⑯	22	21	57	64	15	13	6	1	0
⑰	41	23	41	62	13	13	5	0	0
⑱	13	22	40	54	30	21	17	2	0
⑲	36	30	39	57	17	10	8	0	0
⑳	12	18	31	54	32	21	25	6	0
㉑	28	20	47	68	20	11	6	0	0
㉒	10	13	39	64	31	22	19	0	0

「確かな学力」(アンケート番号①～⑨)

中1ジョイントプログラムや2年生、3年生の学習確認プログラムの結果については、全市平均と比べ厳しい状況でした。3年生の全国学力・学習状況調査については、全国平均と比べやや低い結果でした。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着(学校外での学習習慣)

☆アンケートでは今回も、家庭での読書週間と学習習慣が気になりました。全国学力調査でも、学校以外で学習時間が1時間未満と答えたのが、約半数ありました。塾での学習時間を含めての回答なのですが、中学校3年生としては低い値だと言わざるを得ません。全国平均が30%であることを考えると、学校外での学習習慣をどのようにしていくのかが重要であると考えます。放課後学習会や土曜スクールなど、塾以外で学習できる機会を提供しているのですが、出席率も伸び悩みの状況で、今後も更に学習意欲を高めることに力点を置き、指導を継続していくべきと考えています。また基礎基本の訓練と共に、他者との関わりの中で、より深い学びに向かう授業の展開を創造する必要があると考えます。

② 表現力の向上

☆アンケート②④の項目で自分の意見や考えを「伝える」「書く」ことについて、生徒・大人ともに課題があると捉えています。また、アンケート⑤の項目の結果も気になるところです。じっくりと一人で考えることを基本として、仲間とのつながりの中で、自らの考えを深め、しっかりと定着させる場面を、意図的に作る必要がある。小中が連携して改善のための取組を進めたいと考えています。

「豊かな心・健やかな体」(アンケート番号⑩～⑯)

アンケートの結果より、概ね肯定的な意見ですが、項目毎に見ると、課題が見られる部分があります。

① 豊かな心の育成

☆アンケート⑭が低い結果ですが、3年生の全国調査では「良いところがある」と答えた生徒は約8割となり、仲間との繋がりの中で自己有用感を育て、自尊感情を高めていく取組が3年生で成果が表れてきたと思われます。

② 基本的生活習慣の確立

☆アンケート⑬について、約3割の生徒が「できないない」と答えていますが、全国調査では3年生の9割が朝食を採り毎日同じ時刻に起きていると回答しています。少しづつではありますが、生徒への働きかけが習慣化されてきていると感じています。今後も、地道に生徒や保護者への啓発を進め、より保護者との連携を強めていきたいと考えています。

③ 学校の取組で、豊かな心を育めているか。

☆アンケート⑯では、肯定的な回答をした生徒が8割を超え、保護者からも8割が肯定的な回答をいただきました。しかし、全国調査で「将来の夢や目標を持っていますか」の問には、約3割が否定的な回答でした。本校の学校教育目標である「自立・貢献・夢さがし」の実現に向けて、まだまだ取組を勧めなければならないと考えています。その反面「人の役に立つ人になりたいと思いますか」との問には98%の生徒が肯定的に回答しています。生徒の心の内を揺さぶり、目標に向かって努力し続けたり、仲間と協力してやり遂げる成就感を味わわせることで、自尊感情を高め、将来の自らの夢に向かって歩き続ける生徒の育成を目指したいと考えています。

「学校・家庭・地域との連携」(アンケート番号⑰～㉒)

思春期の真っ只中である生徒にとって、⑮や⑯といったアンケート結果が低くなっていることが予想されます。

① 開かれた学校づくり

☆アンケート㉒「地域交流」について、生徒の意識は毎回低い状況があります。全国調査でも「今住んでいる地域の行事に参加していますか」との質問があり、本校の3年生で肯定的な回答をしたのは37%で、全国平均の46%から10%ほど下回っています。生徒自身が社会と繋がり、社会に貢献する大人となっていくためには、生徒自身が身の回りの大人たちに支えられている、大人たちと繋がっている、関わりがあるといった実感を得られることが大切ではないかと考えています。

② 子どもの良いところを見つけ、ほめること

☆アンケート⑰「先生に相談」㉒「ほめられる(ほめる)」㉓「保護者来校」について、依然として生徒と大人の差が大きくなっています。家庭・学校が協力し、子どもと一緒にいることで、子どもたちの自信につながることができるよう、はたらきかけていくことが大切だと考えます。